

### 食用廃油のリサイクル で有効利用を



遠藤百子(自由民主党)

①食用廃油はリサイクルすると、軽油代替燃料として「バイオディーゼル燃料」に生まれ変わります。また、精製する際に二次製品でバイオ洗浄剤として「バイオオウツシャー液」ができます。環境福祉、教育に貢献するバイオディーゼル事業は、学校給食

で、家庭廃棄物指定収集袋の店舗の一枚売りを広げないか  
ごみ対策課長 市内販売業者と実施協定等結び、レジ袋の削減には取り組んでいく。

③小金井桜の保全に対し、都との連携で市としての対応

生涯学習部長 150mのヤマザクラ実験区間が22年度に都で計画されている。市でも整備活用計画を3月中旬に策定し関係6課の協議会で対応する。

②レジ袋の削減を別途として使っていくか検討したい。

都市整備部長 現在高架下の使用についてJ&Rと交渉中で、一定の了解は得ているが調整等が難航している。長期的な駐輪場計画を策定中であり、公共用地の利用等を考えている。法改正により道路占有も認める見解も出ているが、提案された民有地も一つの候補地として考えていかなければならない。

### 武蔵小金井駅周辺の 駐輪場対策について



篠原ひろし(改革連合)

西友裏の北第一駐輪場北側部分の土地所有者が変わり、マンションを建設することから駐輪場を今年度中に撤去しなければならぬ。千500台が撤去対象になり当面は手当した4か所に収容するが、分散した上借用期間が短期間なので今後駐輪場があちこちに移動したり場所的に不足してくることが考えられる。高架下に収容できる台数だけでは心配があるため長期的に確保できる駐輪場を考慮すべきだ。本町五丁目の小金井街道沿いのボーリング場南側駐車場は駅から290mで2階部分の長期借用について前向きな返事をもらっている。

また駐輪料金は小金井市民と他市民とに格差をつけていいのではないかと思うので検討してほしいと要望した。

### 道路の現状と 公共施設便所の充実



中根三枝(自民党小金井)

①小金井市の道路行政は遅れていたが現在数か所道路工事が行われている。(ア)小金井街道は完成か。(イ)連雀通りの図書館から東と警察から西はどうなるか。(ウ)緑中央通りと東大通りは。(エ)すすいすいプラ

ら北側は完成。(イ)東側は安全対策は終わっているが買収は困難。西側は今年度基本設計22年度に個別説明を行った後用地測量に入る。(ウ)用地買収を含めて鋭意進行中。(エ)全部で6か所採択されている。

市長 現在都市計画道路が完成しているのは30%台だが工事が完成して50%ちょっと

### 保育園・学童保育所の 民間委託化は見直しを



水上洋志(日本共産党)

①保育園と学童保育所を民間委託化する市の方針について問う。(ア)スケジュールはどう考えるのか。(イ)児童福祉審議会答申では、保育園は現行体制維持、学童は、民間委託は時期尚早、どうしても委託の場合は質を守る手立てをとる内容だがこれをどう考えるのか。(ウ)学童は大規模化や障がい児受入れや対象拡大などの新たな問題がある。今後の学童の基本計画を定めることが先で、民間委託化はやめるべきではないか。

託化、保育園は大枠の考えはあるがまだ決まっていない。(イ)保育園の延長保育、夜間保育、病児・病後児保育などのニーズ、学童での時間延長や一時保育のニーズ拡充のため限られた予算の中で民間活力も含め検討していく。(ウ)のびゆく子どもプランで考える。

子ども家庭部長 (ア)学童は平成22年度に2か所を民間委託化、保育園は大枠の考えはあるがまだ決まっていない。

子ども家庭部長 (ア)学童は平成22年度に2か所を民間委託化、保育園は大枠の考えはあるがまだ決まっていない。

### 友好都市「三宅島」 野鳥の楽園「三宅島」



宮下 誠(公明党)

三宅島と友好都市盟約を締結して30年以上が経過している。この間、小金井三宅島友好協会等の尽力により、交流が進められてきた。(ア)青少年を対象とした自然体験事業を推進しては。(イ)三宅島の少年剣士との交流など、小中学生を対象としたスポーツ交流の促進を。(ウ)三宅島は、250種以上の野鳥が観察できる世界でも珍しい場所だ。最もさえずりの聞ける5月から6月は、海も穏やかで船旅にも向いている。市の広報で三宅島の特集を組んではどうか。

摩・島しよ広域連携活動助成金事業を活用し、自然体験や三宅島の子もたちとの交流を実施する方向で検討している。(イ)同助成金を活用し、教育委員会とも連携しながら進めていきたい。

子どもたちや家庭が希望すれば、自然体験や交流ができるような形を追求していきたい。

市民部長 (ア)何らかの形で子どもたちや家庭が希望すれば、自然体験や交流ができるような形を追求していきたい。

### 特別養護老人ホームの 建設について



関根優司(日本共産党)

①高齢者住宅に住んでおられる認知症の方で、1日2回徘徊で保護された方がいる。特養に入れず3か月ごとに医療施設を転々としている方もいる。措置制度を活用するな

は認知症の方が多くいるのは否めない。在宅で生活されている認知症の方には探知システムを貸与するなどしている。措置は緊急対応で、基本は契約になる。

②小金井市は高齢者人口対

### 図書館と公民館の融合 で新たな社会教育を



野見山修吉(みどり・市民)

①(ア)公民館運営審議会、図書館協議会などの連携強化を。(イ)図書と社会教育主事など両方の資格を取れる保障を。(ウ)貫井北町センター建設では縦割りではなく図書館と公民館が連携してサービスできるようにすべき。(エ)設計などには単純な入札にしないように。(オ)公民館運営方針は市民参加で見直したが、図書館運営方針は20年前のもので、市民参加などの視点がなないので見直しを。(カ)図書館の委託化について新しい11期図書館協議会の議論はどうなのか。

回数を増やす。(イ)望ましいが難しい。(ウ)両方で使えるロビーの設計などを検討する。(エ)プロポーザル方式などで検討する。(オ)提案を踏まえ十分対応したい。(カ)勉強会に参加した委員は10期の協議会答申の精神を尊重することになった。